

2012 年度 湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」報告書
～華南地域(香港、マカオ、広東省広州市)における国際組織犯罪等の研究～

2012 年 9 月 25 日

総合政策学部教授

小 林 良 樹

1. 実施期間

2012 年 8 月 30 日 (木) ～2012 年 9 月 6 日 (木)

- ・ 8/30～31 の 2 日間は SFC での事前研修を実施。
- ・ 9/2～6 の 5 日間は香港を拠点に現地にてフィールドワークを実施。

2. 参加者

小林良樹 (総合政策学部教授、引率)

鈴木あい (環境 4 年)、川辺佑樹 (環境 3 年)、内山朋美 (総合 2 年)、

金子知加 (総合 2 年)、田中良 (総合 2 年)、宮地大輔 (総合 1 年)

3. 日程概要

8/30(木):	SFC での国内事前研修 ※ 香港、マカオ、中国の政治・警察制度、治安情勢等に関する 集中学習を実施。
8/31(金):	同上
9/01(土)	(各自準備)
9/02(日):	午前：成田出発 午後：香港到着
9/03(月):	午前：香港警察訪問 (国際組織犯罪対策等に関する講義) 午後：香港の関連施設等の視察 (香港警察機動隊、区境警備隊)
9/04(火):	午前：在香港の危機管理コンサルティング会社訪問 (マカオ治安情勢等 に関する講義) 午後：マカオ訪問、マカオの関連施設等を視察 (カジノ等)

9/05(水):	午前：広州訪問、在広州日本総領事館訪問（現地治安情勢等に関する講義） 午後：広州の関連施設等の視察
9/06(木):	午前：在香港日本国総領事館訪問（現地治安情勢等に関する講義） 午後：帰国

4. 成果

華南地域（香港、マカオ、広州）は薬物犯罪、マネーロンダリング等を始めとする国際組織犯罪等に関し、我が国の治安と深い関わりを有している。本研修では、香港警察、在香港及び広州の日本国総領事館等の協力を得て、同地における国際組織犯罪・テロ対策等の現状と課題、我が国への影響等に関して実地研究を実施した。

事前研修においては、文献等を用いて香港、マカオ、広州の政治・警察制度、治安情勢等に関する集中学習を実施した。特に、香港及びマカオの「一国制度」の理解に努めた。他方、現地でのフィールドワークにおいては、現地関係者へのインタビューや関連施設の視察等を通じて、文献資料等からは得られない現地の実情の把握に努めた。特に、香港、マカオ、広州の各地域における政治、社会情勢等の実際の「相違」を解明し、理解することに務めた。

偶然にも訪問時期は領土問題をめぐり日中間に緊張が走り始めた時期に重なったが、日本の報道では必ずしも正確には伝えられていない現地の対日感情の実情を垣間見ることができた。

各学生は帰国後に、事前の資料学習と現地フィールドワークの双方の内容を踏まえたレポートを作成し、提出した。



（在香港日本国総領事館にて記念撮影。）

以上